

神戸市北区で栽培した さつまいもを使った加工品製造販売



信頼関係をとても大切にする鶴巻さん
神戸地域おこし隊の隊員には、「『まず地域の知り合いを100人作って！地域への提案はそれから！』って言ってます」

◆移住希望者には、草刈り等共同作業への参加の必要性、コミュニケーションの大切さ、農村で暮らす不便さ等を、包み隠さずに伝えている。「あえて夢を語らない。それでも移住したいという方に、地域とのマッチングを行っている。」と鶴巻さん。

◆農業体験をしたい都市の方々と農家を繋ぐマッチングサイト「怠農研」を運営。サイトには農家の人柄がわかるようなコメントを掲載し、体験希望者には詳細な申込みフォームを作成してもらうことによって、マッチング率を高めている。

◆6次産業化は、最初から大きく設備投資をせずに、売れる商品かどうかを見極めてから、機械や道具を少しずつ揃えていった方が失敗を防げると考えている。

今後の展望

◆様々な関係者と協力し、農業等の仕事や農村を維持・活性化する活動をたくさんの人が担う、新しい都市農村共生のモデルを神戸からつくっていきたい。

つるまき農園

◆所在地
兵庫県神戸市北区

◆お話を伺った方
鶴巻 耕介

◆取組内容
・さつまいもと落花生の栽培
・干し芋の製造販売
・移住や農村起業のコーディネーター、農家とのマッチングサイト運営等

きっかけ

◆地域活性化に向けて、農村への移住や起業のコーディネーター、消費者と農家とのマッチングサイト運営、農業スクールの講師、民泊の経営等たくさんの仕事をこなしながら農業を行ってきた。新たな取り組みを考えていたところ、長期保存が可能な加工品の製造販売は、自分のペースで作業ができて、自分が望むライフスタイルに合っていると考えた。

取組内容

◆農薬を使用せず、ぼかし肥料を使用して栽培したさつまいもを原料として、干し芋と焼き芋を製造。各種ECサイト等で販売している。



(上) 天日でじっくり干した干し芋
(下) 体験農園の様子
(画像提供：つるまき農園)

2023年11月15日調査